



9月のほけんだより



猛暑が続き今月も9月とはいえまだ残暑が厳しくなりそうです。先月は、新型コロナウイルスの感染症の報告がありました。江戸川区でも引き続き新型コロナウイルスは増加傾向になっています。またこの時期は、夏の疲れが出やすい時期です。元気に活動に向かえるよう、今一度、お子様の健康生活を見直し、生活リズムを整えて、残暑を乗り切りましょう。また、夏の休みの間大きな怪我や感染症などの病気・新たにアレルギー症状が出たときは、園にすぐにお知らせ下さい。

9月9日は救急の日 子どもの事故防止のために ～日頃から心がけたいこと～

元気いっぱい活動する子ども達ですが、様々な事故にあう恐れがあります。家庭内などで起こる事故を中心に、事例と対策について知り、予防に努めましょう。

誤飲・誤えん・窒息 子どもの死亡事故で上位を占めているのが、不慮事故で、窒息は0才が89.9%、1～4才で35.1%、5～9才で17.6%を占めています。

事例:タバコの誤飲

胸ポケットに開封済みのタバコを入れたまま居眠りをして、その間に子どもがそこからタバコを取って少量かじってしまった(0歳)

気を付けたいポイント

タバコ、ボタン電池、医薬品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置きます。医薬品などは、子どもの見ているところで飲まないようにします。乾燥剤なども間違えて食べる事があるので、処分します。

事例:あめの誤えん

あめを食べたまま走り出して飲み込んでしまい、息が出来なくなりました。(4才)

気を付けたいポイント

ミニトマトやぶどうなど、丸くてつるつるした食品は、小さく切って食べさせるようにします。

あめやグミなどを食べる時は、落ち着いた環境で座って食べます。

事例:フードによる窒息

滑り台を滑ろうとしたら、後ろの子にパーカーのフードを引っ張られてしまい、首がしまりそうになった。(5才)

気を付けたいポイント

フードやひもなどが付いていない洋服にします。シールやポリ袋などがのどに詰まったり、袋をかぶったりして窒息することがあるので、子どもの手の届かないところに置きます。

溺水 不慮の事故で溺水は、0才は5.8% 1～4才で45.6%、5～9才では、52.9%を占めます。

事例:20cmくらいのお湯をはった湯舟に1人で遊ばせていたら、母親がシャワーをしてる、5秒くらいの間に湯舟で子どもが仰向けに浮かんでいた(1才)

気を付けたいポイント

子どもだけで浴室に入れないように、鍵などをかけておきます。子どもが小さいうちは浴槽の水を抜いておきます。子どもを浴室で1人きりにしません。

覚えておくと便利な番号

小児救急電話相談を利用しましょう！ #8000 東京都平日 18:00～23:00 休日(土曜日含む)9:00～23:00

子どもが急に発熱したり、病気になったりした時には不安な気持ちになるものです。小児科の医師や看護師から、お子様の症状に応じた適切なアドバイスを受けられます。

救急電話相談 #7119 24時間 救急車を呼んだ方が良いか？今すぐ病院に行った方が良いか迷った時